

令和3年度
高浜市当初予算の概要



高浜市総務部財務グループ

目 次

1	基本的な考え方	1
2	予算規模	2
3	歳入の状況（一般会計）	3
4	歳出の状況（一般会計）	5
5	市債の状況（借入・返済額と現在高）	7
6	基金（貯金）の状況	9

巻末資料

(1)	広報たかはま（4月1日号） 「令和3年度当初予算の概要」	13
(2)	主要・新規事業一覧	14

1 基本的な考え方

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税の大幅な減収を見込んでおり、いまだかつてない極めて厳しい状況である。加えて、その影響は、当面の間、続くことも想定される。しかしながら、こうした事態に、決してひるむことなく真正面から立ち向かい、たとえ、アクションプランであったとしても、長期的な視点に立ち、真に必要なものに重点化していかなければならない。

そこで、令和3年度予算編成では、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化を見据え、コロナ禍における限られた経営資源をより一層効果的・効率的に活用するとともに、感染症収束後の「新たな日常」などの社会変容に対応していくため、「新たな日常へのチャレンジ予算」として予算編成に取り組むこととした。

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響への対応

市民の安心安全を最優先に、令和2年度に引き続き、市民生活や市内経済に及ぼす影響を的確に把握し、タイムリーに対応する。

(2) 感染症収束後を見据えた徹底した見直しと経常的経費の削減

「新しい生活様式」を踏まえた事業手法の多様化など事業の見直しに徹底して取り組み、経常的経費についても、その実態を的確に把握し、削減に向けた取り組みを行う。

(3) 重点取組事業への財源配分

新型コロナウイルス感染症の影響に対する事業に加え、第6次高浜市総合計画における本市が目指す将来都市像の実現に貢献する事業に予算を優先的に配分する。

○重点取組事項

令和3年度予算編成は、以下、4事業を重点取組事業と位置づけた。

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響に対する事業
- (2) ICTを活用した行政サービスの推進につながる事業
- (3) 公共施設総合管理計画の推進につながる事業
- (4) 安心な子育て環境につながる事業

○予算編成過程

8月	サマーレビューの実施
10月	第1回予算編成会議の開催、予算編成方針の公表
11月	第2回予算編成会議の開催
12月	第3回予算編成会議の開催
1月	2役査定、当初予算(案)の確定
2月	第4回予算編成会議の開催、当初予算(案)の議会上程

2 予算規模

●一般会計予算規模 160億110万円（前年度比▲10億7,590万円）

【歳入】◆市税 新型コロナウイルス感染症の影響により減少（81億739万円、前年度比▲7億5,085万円）

◆繰入金 財政調整基金繰入9億4,715万円（前年度比+5億8,076万円）

【歳出】◆コロナ関連として個別接種業務委託等、感染症対策用災害物資購入、テレワーク構築業務委託を実施。

◆公共施設関連として高浜中学校プール改修工事、高浜中学校トイレ改修工事、体育センター解体工事、港小学校長寿命化改良事業設計業務委託を実施。

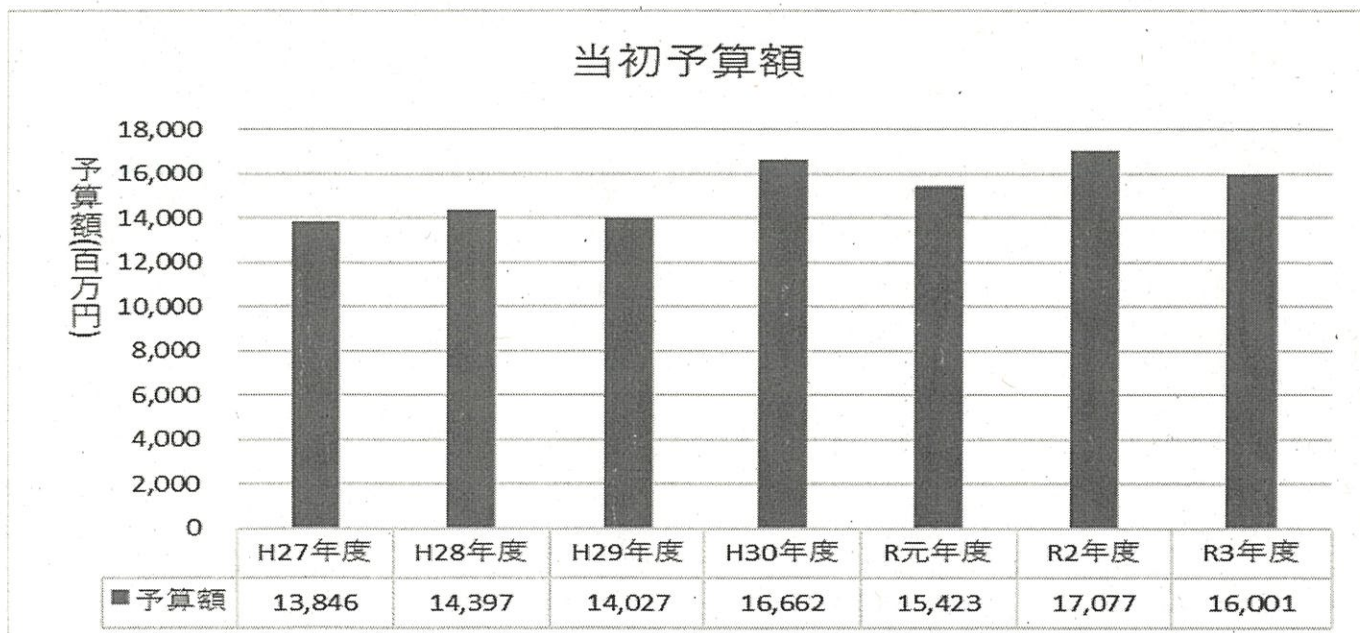
●特別会計を含む全会計の予算総額は、266億8,493万円で、前年度比▲9億1,532万円、3.3%減。

(1) 全会計（当初予算）予算規模の比較

（単位：千円）

会計名	令和3年度	令和2年度	増(▲)減	増減率(%)	
一般会計	16,001,100	17,077,000	▲1,075,900	▲6.3	
特別会計	国民健康保険事業	3,277,543	3,277,947	▲404	▲0.01
	土地取得費	35,237	36,906	▲1,669	▲4.5
	公共駐車場事業	31,716	42,598	▲10,882	▲25.5
	介護保険	2,865,632	2,827,849	37,783	1.3
	後期高齢者医療	552,978	553,117	▲139	▲0.03
	小計	6,763,106	6,738,417	24,689	0.4
水道事業会計	1,346,620	1,300,194	46,426	3.6	
下水道事業会計	2,574,104	2,484,639	89,465	3.6	
合計	26,684,930	27,600,250	▲915,320	▲3.3	

(2) 予算規模（一般会計）の推移



3 歳入の状況（一般会計）

「市税」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人市民税では、総所得金額（給与所得額）の減に伴い、▲4億3,264万円、▲14.1%の減収を見込むとともに、法人市民税では、鉄工関係などにおける法人税割の減額により、▲2億6,821万円、▲48.0%の大幅減を見込む。

市税合計では、リーマンショック時(平成21年度)と同規模の81億739万円で、前年度比▲7億5,085万円、▲8.5%の大幅な減少を見込む。

「国庫支出金」は、新型コロナウイルスワクチンの接種のために必要な体制を整備することに伴い、ワクチン接種対策費負担金として、2億2,158万円(皆増)、ワクチン接種体制確保事業費補助金として、7,201万円(皆増)を計上した。

「繰入金」は、市税の大幅な減少等に伴い、財政調整基金から9億4,715万円(前年度比+5億8,076万円)と、リーマンショック時に次ぐ規模の繰入金を計上するなどにより、繰入金合計では、11億3,814万円で、前年度比+4億6,415万円、+68.9%の大幅増を見込む。

「市債」は、減収を補うための減収補てん債を1億4,800万円(皆増)計上する一方、高浜小学校等整備事業2期及び3期工事の終了に伴い、前年度比▲10億1,950万円、▲66.5%と大幅減を見込む。

(1) 一般会計（当初予算）歳入状況の比較

(単位：千円)

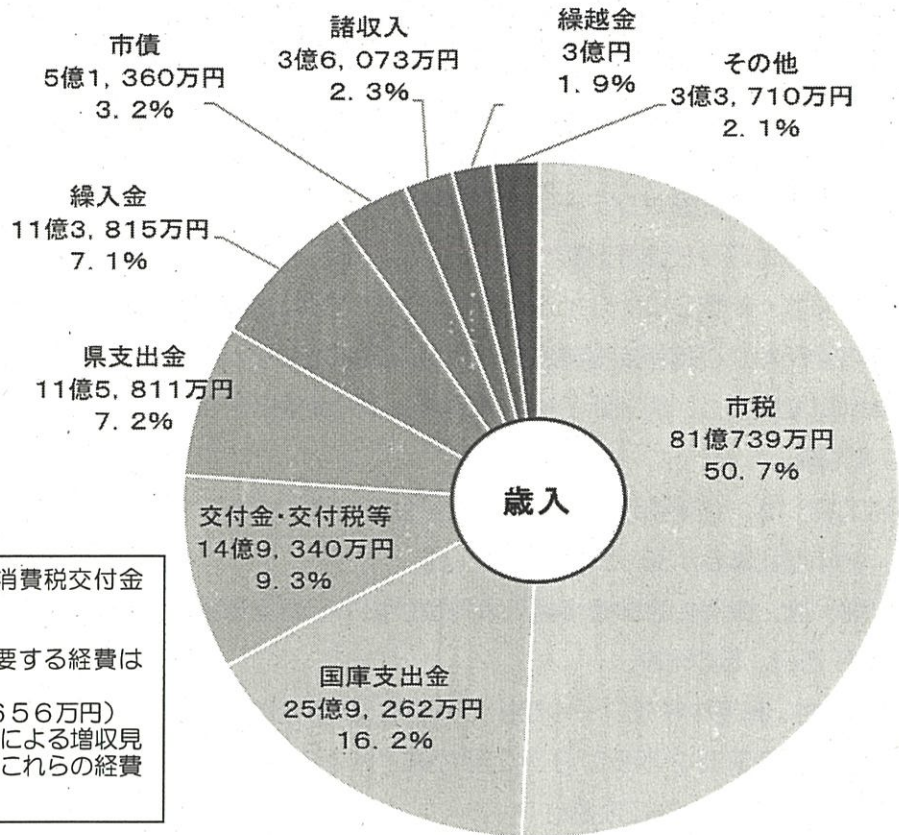
区 分	令和3年度	構成比(%)	令和2年度	構成比(%)	増(▲)減	増減率(%)
市 税	8,107,394	50.7	8,858,250	51.9	▲750,856	▲8.5
地方交付税	100,000	0.6	100,000	0.6	0	0.0
国庫支出金	2,592,622	16.2	2,274,882	13.3	317,740	14.0
県支出金	1,158,113	7.2	1,159,812	6.8	▲1,699	▲0.1
繰 入 金	1,138,145	7.1	673,988	3.9	464,157	68.9
市 債	513,600	3.2	1,533,100	9.0	▲1,019,500	▲66.5
そ の 他	2,391,226	15.0	2,476,968	14.5	▲85,742	▲3.5
合 計	16,001,100	100.0	17,077,000	100.0	▲1,075,900	▲6.3

(2) 市税の内訳

(単位：千円)

税 目	令和3年度	令和2年度	増(▲)減	増減率(%)
市 民 税	2,925,078	3,625,941	▲700,863	▲19.3
うち個人市民税	2,634,252	3,066,900	▲432,648	▲14.1
うち法人市民税	290,826	559,041	▲268,215	▲48.0
固 定 資 産 税	3,958,199	3,994,701	▲36,502	▲0.9
軽自動車税	126,211	124,843	1,368	1.1
市たばこ税	320,392	332,057	▲11,665	▲3.5
都市計画税	777,514	780,708	▲3,194	▲0.4
合 計	8,107,394	8,858,250	▲750,856	▲8.5

歳入



●消費税率引上げによる地方消費税交付金増収分の使途

令和3年度の社会保障施策に要する経費は事業費73億5,329万円（うち一般財源36億4,656万円）となっており、消費税率引上げによる増収見込額5億5,527万円を、全てこれらの経費に充当しています。

コラム 市によって納める税金（市税）に差があるの？

「高浜市の税金は他の市より高いんじゃない？」…という声を聞くことがあります。はたして違いがあるのでしょうか？市に納められた税金で金額が大きいものは、①市民税 ②固定資産税 の2種類があり、この2種類について紹介します。

①市民税（所得割）

税額の算出方法： $\{ (\text{所得金額} - \text{所得控除額}) \times \text{税率} \} - \text{税額控除額}$

ポイントは「税率」ですが、「税率」は一般的には「標準税率」というものがあり、西三河地方の各市と同様に高浜市もその税率を使っています。したがって、市民税が高いということはありません。

市町村	税率
高浜市	標準税率
西三河各市	標準税率

②固定資産税

税額の算出方法： $\text{土地や家屋などの固定資産税課税標準額} \times \text{税率}$

土地や家屋などの資産評価の基準は法律で決まっています、高浜市も基準に沿って評価していますので課税標準額は変わりません。「税率」についても全国の多くの自治体と同様に「1.4%」となっています。したがって、固定資産税が高いということはありません。

市町村	税率
高浜市	1.4
全国	1.4

(※一部超過課税を実施している自治体もあります)

4 歳出の状況（一般会計）

「総務費」は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期した市制施行50周年記念事業を計上するものの、ふるさと応援事業支援業務委託料等の減額により、前年度比▲5,036万円、2.9%減。

「民生費」は、翼児童センター空調設備更新工事費、地域型保育給付費（小規模保育事業）、障害福祉サービス等給付費及び障害児給付費等の増加により、前年度比+1億6,575万円、2.5%増。

「衛生費」は、新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種を実施するための個別接種業務委託料、集団接種業務委託料及び接種支援業務委託料等の増加により、前年度比+3億5,390万円、18.0%増。

「農林水産業費」は、服部新田排水機場ポンプ設備更新工事の終了等により、前年度比▲9,514万円、60.4%減。

「商工費」は、企業誘致等に関する奨励金等の増加があるものの、企業再投資促進補助金の減額等により、前年度比▲6,436万円、22.8%減。

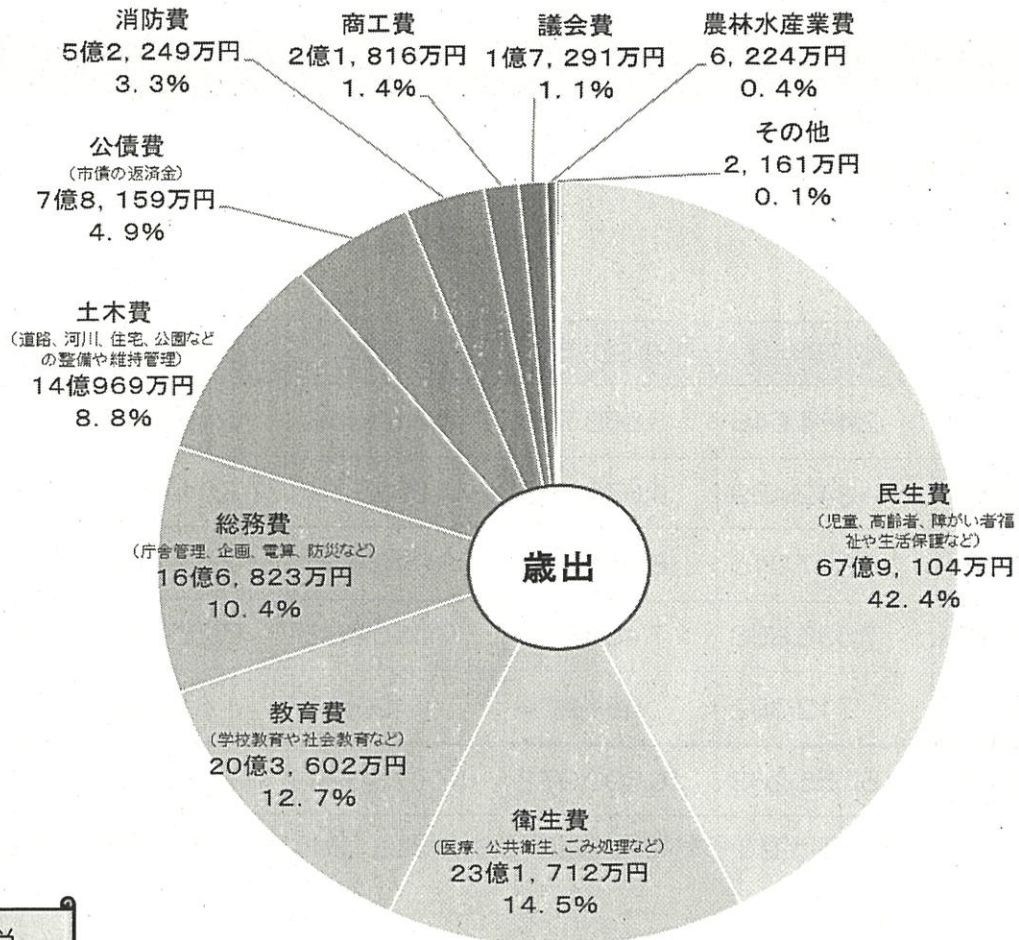
「土木費」は、東海住宅排管修繕工事費及び都市計画基本図修正業務委託料等の減額により、前年度比▲7,405万円、5.0%減。

「教育費」は、高浜中学校プール改修工事費及び高浜中学校トイレ改修工事費等の増額があるものの、高浜小学校等整備事業2期及び3期工事の終了に伴う高浜小学校等整備費の減額等により、前年度比▲12億6,364万円、38.3%減。

（単位：千円、％）

科 目	令和3年度		令和2年度		増 減	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増(▲)減	増減率
議 会 費	172,911	1.1	171,536	1.0	1,375	0.8
総 務 費	1,668,230	10.4	1,718,584	10.1	▲50,354	▲2.9
民 生 費	6,791,043	42.4	6,625,297	38.8	165,746	2.5
衛 生 費	2,317,115	14.5	1,963,217	11.5	353,898	18.0
労 働 費	1,605	0.0	1,620	0.0	▲15	▲0.9
農林水産業費	62,242	0.4	157,373	0.9	▲95,131	▲60.4
商 工 費	218,164	1.4	282,516	1.6	▲64,352	▲22.8
土 木 費	1,409,687	8.8	1,483,735	8.7	▲74,048	▲5.0
消 防 費	522,489	3.3	557,909	3.3	▲35,420	▲6.3
教 育 費	2,036,024	12.7	3,299,660	19.3	▲1,263,636	▲38.3
災害復旧費	4	0.0	4	0.0	0	0.0
公 債 費	781,585	4.9	785,548	4.6	▲3,963	▲0.5
諸 支 出 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
予 備 費	20,000	0.1	30,000	0.2	▲10,000	▲33.3
合 計	16,001,100	100.0	17,077,000	100.0	▲1,075,900	▲6.3

歳出



用語解説

議会費

議員の報酬や議会事務局の person 費、議会運営などにかかる経費

総務費

市庁舎の管理、市民協働、戸籍住民基本台帳などにかかる経費

民生費

児童、高齢者、障がい者などの福祉にかかる経費

衛生費

ごみ処理、医療、保健衛生などにかかる経費

労働費

労働者の福祉向上や就労支援などにかかる経費

農林水産業費

農業の振興、技術の普及などにかかる経費

商工費

商工業の振興、技術の普及や観光などにかかる経費

土木費

道路・河川・公園などの整備や維持管理にかかる経費

消防費

消防団活動や広域消防にかかる経費

教育費

幼・小中学校、生涯学習などにかかる経費

公債費

市の借金の返済にかかる経費

予備費

緊急に支出を必要とする場合に備えて用意している経費

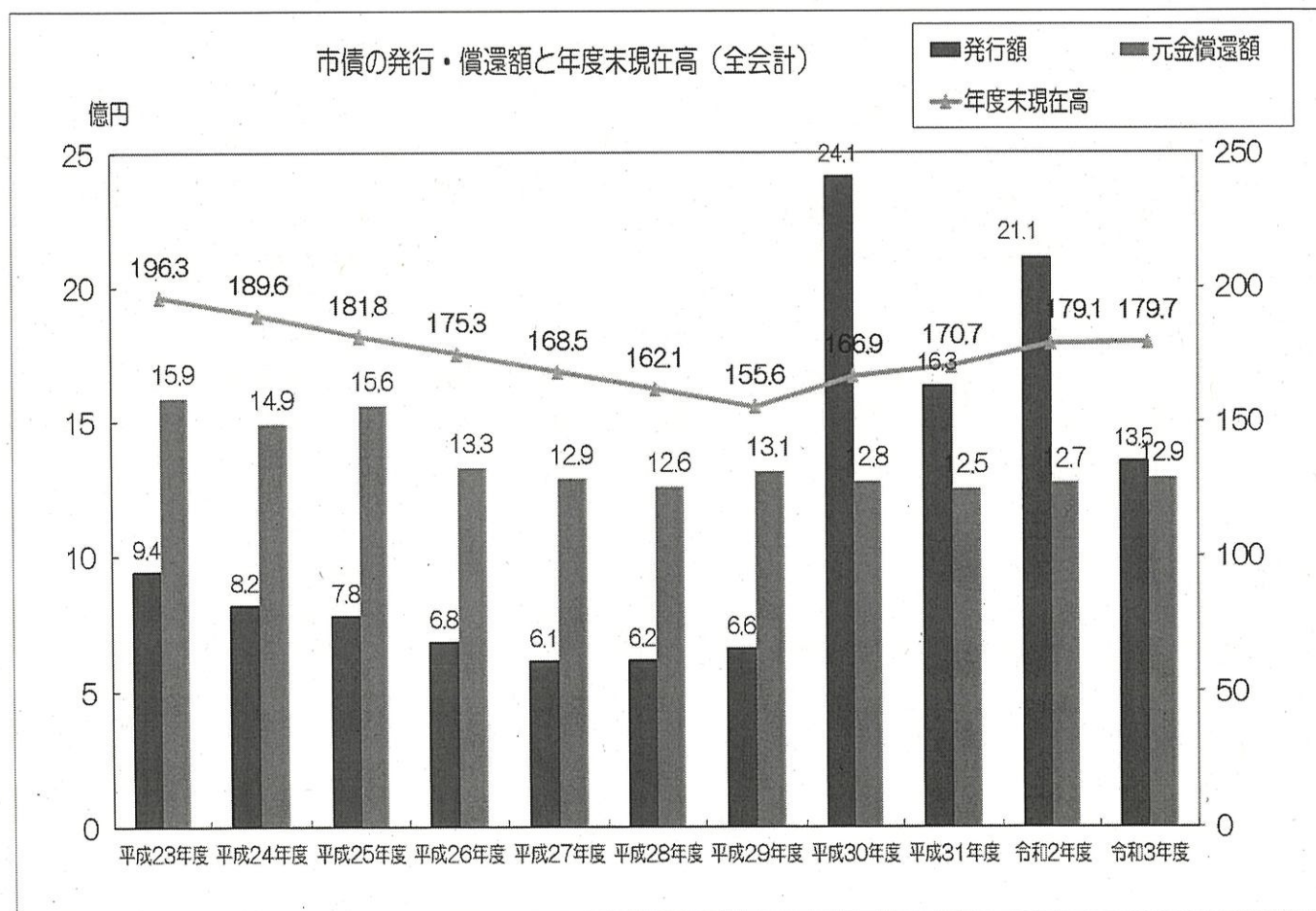
5 市債の状況（借入・返済額と現在高）

市債残高の推移

（単位：千円）

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般会計	普通債	2,464,546	3,868,705	4,810,348	6,198,661	6,422,060
	臨時財政対策債等	4,842,469	4,676,798	4,203,317	3,817,483	3,496,149
	小計	7,307,015	8,545,503	9,013,665	10,016,144	9,918,209
企業会計	下水道事業会計	7,535,856	7,463,565	7,410,682	7,279,478	7,471,908
	水道事業会計	712,392	681,904	649,347	614,681	577,766
合計		15,555,263	16,690,972	17,073,694	17,910,303	17,967,883

備考 市債残高は、平成29年度から令和元年度までは決算額、令和2年度及び令和3年度は見込額を示す。



Q.

市債（借金）はどれくらいあるの？

解説

Q. なぜ、市債を発行する（借金をする）の？

A. 公共施設の建設など、いわゆる社会資本の整備には、一度に多額の経費がかかります。その経費を調達するために市債を発行します。市債には主に、次の2つの考え方があります。

- ①現役世代だけではなく、将来世代においても、整備された社会資本を利用しますので、税負担の公平性の観点から、将来世代にもその財政負担の一部をお願いするというもの。
- ②社会資本の整備に当たり、整備年度において、一括して財源を負担することは、当該年度の財政運営に支障を及ぼす恐れがあり、適切ではないため、負担の平準化を図るというもの。

Q. 市債（借金）残高はこれまでどうだったの？これから先はどうなるの？

A. 平成13年度には、市債残高は255億円ありましたが、平成29年度までは市債の残高は年々減ってきていました。これは、「かわら美術館」や「三河高浜駅付近」をはじめとする市街地の再開発などに借りたお金の返済が終わってきているためです。また、これまで投資的経費が低かったため、市債の発行が少なかったことも理由のひとつです。しかし、平成30年度から高浜小学校等整備事業等により「市債の発行額」は増え、各年度の元金償還額を上回ってきています。令和3年度についても差は縮まっていますが、引き続き市債の発行額は元金償還額を上回っている状態です。これからも老朽化した公共施設の改修が見込まれ、その財源として借入れをする予定です。その結果、令和3年度末の残高は180億円と見込んでおり、今後も市債残高は増えていくことが予想されます。

【参考】 地方債（市債）現在高／標準財政規模（％） 87.3％（愛知県内25位／37市）

（令和元年度地方財政状況調査結果より。名古屋市は除く。）

令和元年度末の本市の標準財政規模に対する地方債現在高（一般会計）の割合は、87.3%となりました。愛知県内の自治体と比較すると順位は下位になってしまいますが、この数値は将来の財政負担が少ないことを意味しており、財政の弾力性を確保する要素となっています。

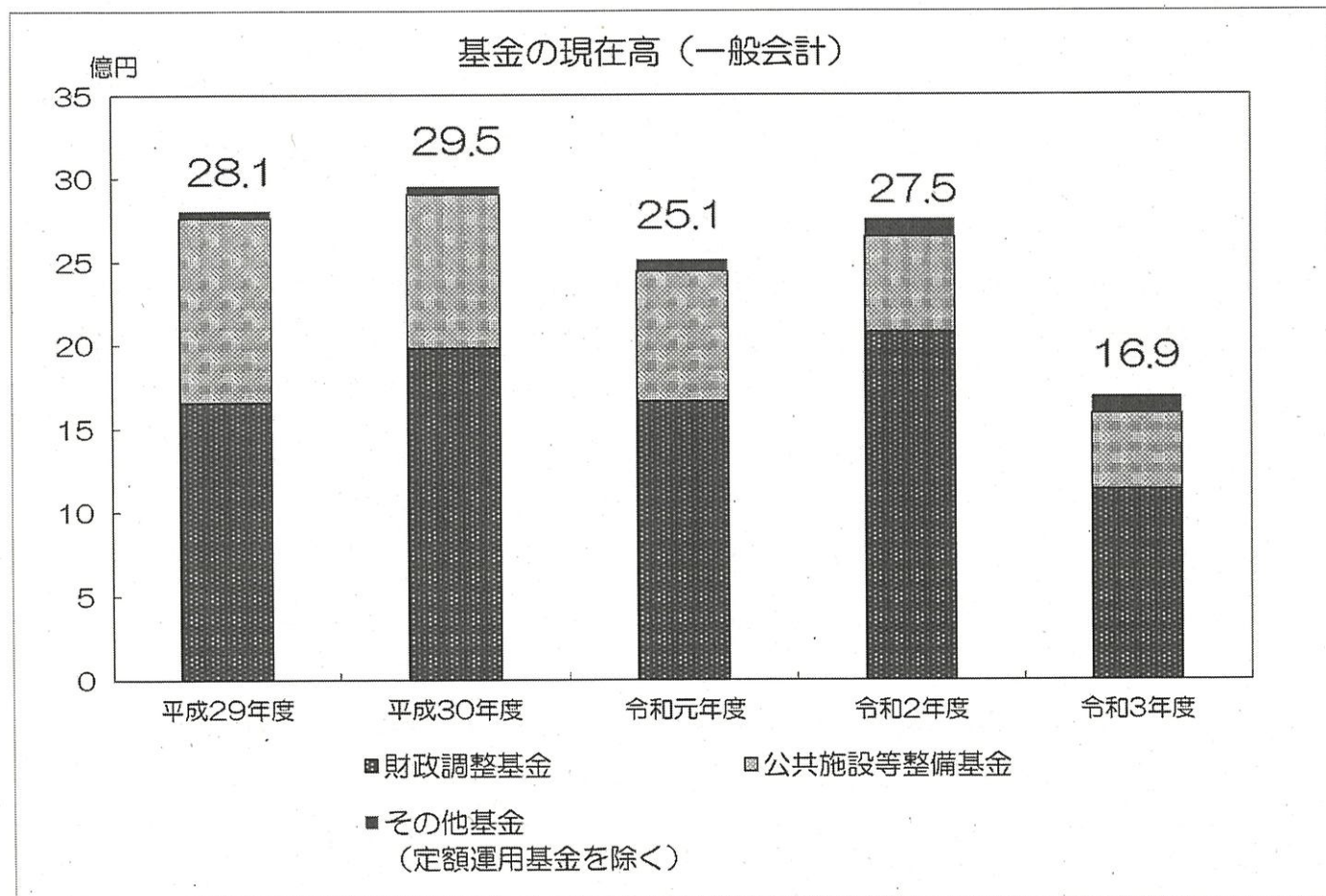
6 基金（貯金）の状況

基金年度末残高の推移

(単位：千円)

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
財政調整基金	1,658,610	1,984,901	1,664,371	2,080,187	1,133,921
公共施設等整備基金	1,103,240	920,983	777,813	565,937	450,389
その他基金 (定額運用基金を除く)	48,759	46,953	67,739	106,713	107,354
合 計	2,810,609	2,952,837	2,509,923	2,752,837	1,691,664

備考 基金の年度末残高は、平成 29 年度から令和元年度までは決算額、令和 2 年度及び令和 3 年度は見込額を示す。



Q.

市の基金（貯金）はどれくらいあるの？

解説

Q. 基金（貯金）の状況は？

A. 高浜市には突然の不景気や大規模災害、昨今の新型コロナウイルス感染症などに対応し、何の目的にも使える自由度の高い基金である「財政調整基金」や学校などの公共施設の整備に使うための「公共施設等整備基金」などの基金があります。

リーマンショック前、「財政調整基金」残高は20億円を超えていましたが、リーマンショックの影響により毎年使うお金が市税などの収入では足りず、基金を崩した結果、平成24年度には10億円まで減少しました。その後、残高は増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による市税の大幅な減収を補うため、令和3年度末の残高は11億円まで減少することを見込んでいます。

Q. 公共施設整備の基金は？

A. 公共施設等の整備に必要な財源を確保するため、平成21年度に「公共施設等整備基金」を設置し、計画的な積み立てを行ってきました。このように積み立てしてきたお金を、学校の大規模改修を始めとする、公共施設の整備のために使う予定です。これからも計画的に積み立て、使っていきます。

【参考】基金（積立金）／標準財政規模（％） 25.7％（愛知県内27位／37市）

（令和元年度地方財政状況調査結果より。名古屋市は除く。）

令和元年度末の本市の標準財政規模に対する基金現在高の割合は、25.7%でした。このことは、将来の財源不足への対応や大規模な災害が発生した場合の財政余力が乏しいことを示しています。

Q. 基金（貯金）はいくらあるのが理想なの？

A. 財政運営の安定化を図るためには、財政調整基金の積み立てが必要です。

一般的に、財政調整基金残高の目安は、標準財政規模の10%といわれ、本市では10億円となりますが、リーマンショックの影響で10億円減少したこと、新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度予算の財政調整基金取崩し額が9億4,700万円になったことを踏まえ、目標額を20億円と設定しています。

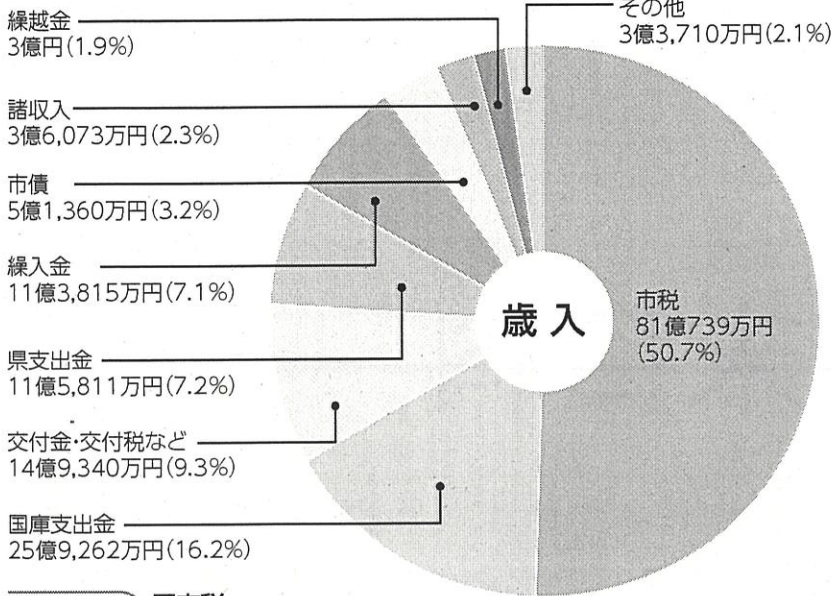
巻末資料

(1) 広報たかはま（4月1日号）

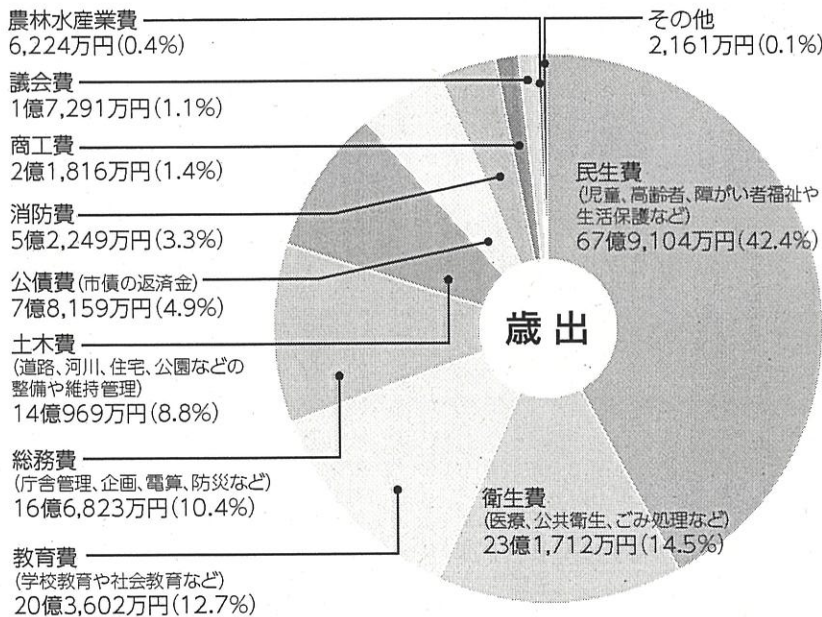
「令和3年度当初予算の概要」

(2) 主要・新規事業一覧

一般会計の歳入・歳出



- 主なもの**
- 市税
 - ・固定資産税 …… 39億5,820万円 (前年度比 0.9%減)
 - ・個人市民税 …… 26億3,425万円 (前年度比 14.1%減)
 - 繰入金
 - ・財政調整基金繰入金 …… 9億4,716万円 (前年度比 158.5%増)



- 主なもの**
- 民生費
 - ・高齢者、障がい者福祉などに対する事業費(社会福祉費) …… 32億3,922万円
 - ・こどもの福祉などに対する事業(児童福祉費) …… 31億9,535万円
 - 衛生費
 - ・保健、予防接種などの事業費(保健衛生費) …… 13億1,218万円
 - 教育費
 - ・小学校の維持管理などの事業費(小学校費) …… 6億5,244万円

令和3年度 当初予算の 概要

令和3年度の各会計予算が市議会3月定例会で可決されました。
新年度予算の概要をお知らせします。

問合せ先 財務グループ
☎52-1111
(内線322)

当初予算 全会計総額

266億8,493万円
(前年度比3.3%減)

一般会計 ……
160億110万円
(前年度比6.3%減)

特別会計 ……
67億6,311万円
(前年度比0.4%増)

〈内訳〉

国民健康保険事業	32億7,754万円
土地取得費	3,524万円
公共駐車場事業	3,172万円
介護保険	28億6,563万円
後期高齢者医療	5億5,298万円

企業会計 ……
39億2,072万円
(前年度比3.6%増)

〈内訳〉

水道事業	13億4,662万円
下水道事業	25億7,410万円

一般会計とは	一般会計とは、市の会計の基本となるもので、市税収入をおもな財源として、福祉の充実や道路の整備など市の基本的な施策に要する経費を経理する会計です。
特別会計とは	特別会計とは、特定の事業を行う場合に、その特定の収入を特定の支出に充て、一般会計と別に経理する会計です。
企業会計とは	企業会計とは、独立採算による特定の事業を経理する会計です。

(2) 主要・新規事業一覧

NO	事業名	事業費	頁
1	ICT推進事業 (AIを活用した総合案内サービス業務委託)	858千円	15
2	ICT推進事業 (テレワーク構築業務委託)	1,641千円	17
3	ICT推進事業 (AI-OCR共同利用サービス利用料)	573千円	19
4	市制施行50周年記念事業	7,863千円	21
5	防災活動事業 (消耗品費：新型コロナウイルス感染症対策分)	6,100千円	25
6	地域生活支援事業 (障がい者地域生活総合支援業務委託)	46,509千円	27
7	小規模保育事業 (地域型保育給付費)	24,680千円	29
8	新型コロナウイルス感染症対策推進事業 (個別接種業務委託等)	250,799千円	31
9	母子保健事業 (機械器具費)	1,358千円	33
10	交通安全指導啓発事業 (自転車用ヘルメット購入費補助金)	576千円	34
11	教育委員会運営事業 (保護者連絡システム導入業務委託等)	1,199千円	35
12	小学校維持管理事業 (港小学校長寿命化改良事業設計業務委託)	16,192千円	36
13	中学校維持管理事業 (高浜中学校プール改修工事費等)	111,232千円	37
14	中学校維持管理事業 (高浜中学校トイレ改修工事費)	70,752千円	38
15	生涯スポーツ推進事業 (体育センター解体工事費等)	54,710千円	39

主要・新規事業等

事業名等	ICT推進事業 (AIを活用した総合案内サービス業務委託) 【継続】											
担当グループ	企画部ICT推進グループ											
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう				個別目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み 続けたいと思えるまちをつくります					
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12企画費				
事業名	10 ICT推進事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	行政サービスの手続きなどの問い合わせ時間の縮減は喫緊の課題です。これに対し、民間企業などで導入が進んでいるチャット（対話形式）に注目が集まっていますが、導入コストや質疑応答の管理など事務負担の問題を解決する必要があり、他市町村と共同でシステムの共同調達、質疑応答集の共同利用を進めていく必要があります。										
	目的 (何のために)	AI（人工知能）を活用し、証明書発行の申請手続きやゴミ分別等の市民からよくある問い合わせをチャット（対話形式）で365日、24時間自動応答するシステムを愛知県内の43市町村で共同調達し、質疑応答集も共同利用することで、コストを抑え、市民の利便性の向上と市職員の問い合わせ対応時間の縮減を図ります。										
	対象 (誰・何を対象に)	問い合わせ対応時間										
	事業内容 (手段、手法など)	平成31年1月に設置された「あいちAI・ロボティクス連携共同研究会」（愛知県内54市町村が加入、事務局愛知県）にて選定した「AIを活用した総合案内システム」を愛知県内の43市町村と共同利用し、AIを活用した総合案内サービスを実施します。 サービスの概要は「資料等」で示したとおりであり、令和2年度に作成した29分野、約2,800の想定質問を搭載したシステムを高浜市公式ホームページ上で実施し、活用状況を見ながら、「LINE」アプリへの展開を図ります。										
目指す成果 (期待される効果)	AIチャットボットサービスを実施することにより、市民の利便性の向上と市職員の問い合わせ対応時間の縮減を図ります。											
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	AIチャットボットサービスの開始										令和3年4月	
事業費 積算内容	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	858 千円						858					
・AIを活用した総合案内サービス業務委託料 858千円 (全体事業費 36,058千円、うち高浜市分 858千円)												
事業実施 スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	<input checked="" type="checkbox"/> AIチャットボットサービスの開始											
予算書及び予算説明書該当ページ	105ページ											

これまでの主な取組と成果

事業年度	令和2年度	総事業費	368千円			
これまでの主な取組と成果	平成31年1月に設置された「あいちAI・ロボティクス連携共同研究会」（愛知県内54市町村が加入、事務局愛知県）にて研究・選定したシステムを導入しました。 ・平成30年度：あいちAI・ロボティクス連携共同研究会設置 ・令和元年度：AIチャットボットの研究・検討 ・令和2年度：AIチャットボットの選定・調達・システム構築等（負担金として支出）					
令和2年度（予算）	取組内容	システム構築にあたり、税、戸籍、国民年金など計29分野、約2,800（うち高浜市独自の質疑応答は約700、他市町村共通の質疑応答は約2,100）の質疑応答を作成。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	368千円					368
主な経費	・あいちAI・ロボティクス連携共同研究会負担金 368千円 （全体事業費 22,523千円、うち高浜市分 368千円）					

資料等（位置図等）

ユーザインターフェースイメージ

QAデータ更新の流れ

共有システム

AI成長 UP

追加登録
学習完了

委託先
(企業)

追加登録学習

チャットボットに反映

参加団体

追加・修正・削除依頼
※緊急時は速やかに対応

愛知県内54市町村のうち43団体が加入

委託料の積算根拠は、全体事業費に対し県内43団体で均等割及び人口割による按分となっています。

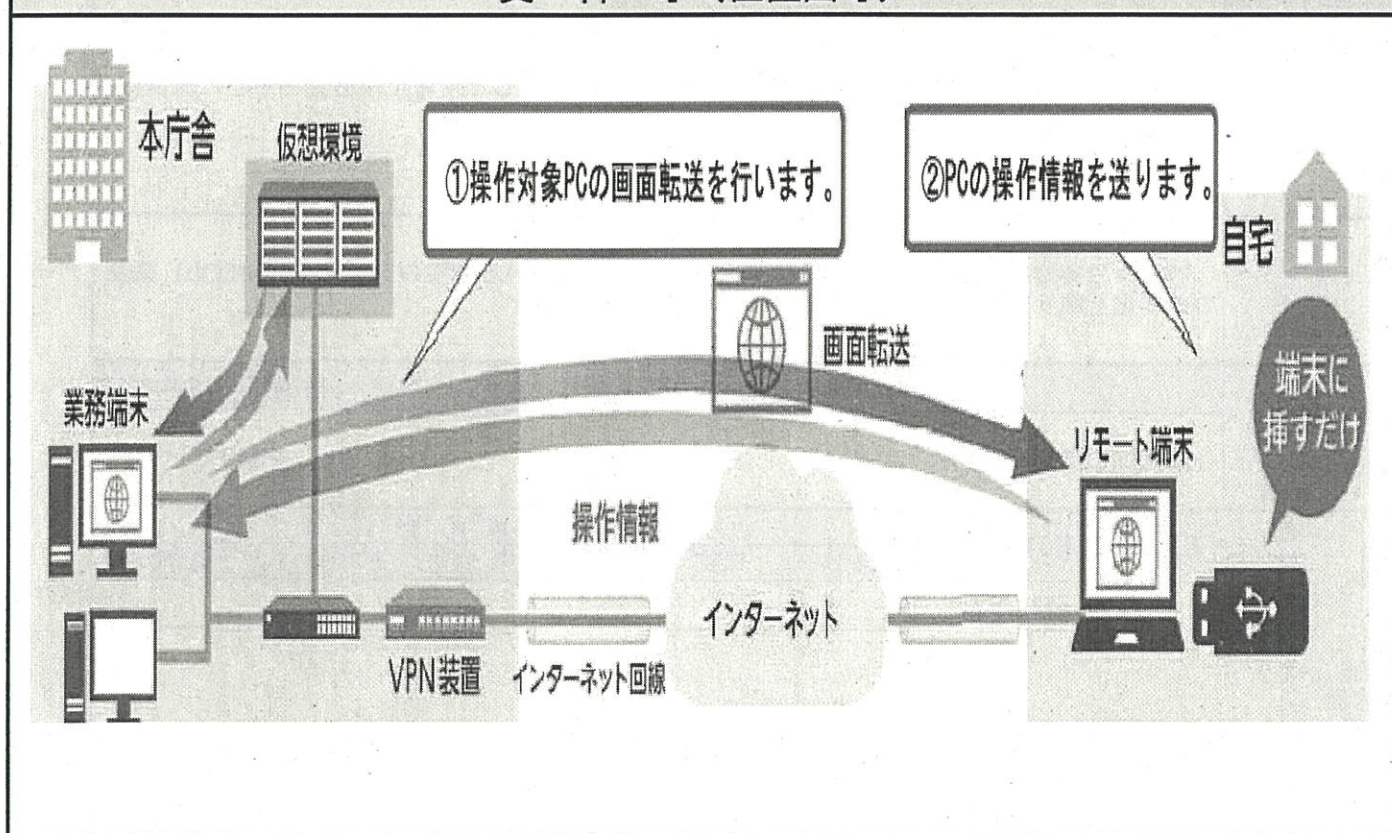
主要・新規事業等

主要・新規事業等													
事業名等	ICT推進事業（テレワーク構築業務委託）【新規】												
担当グループ	企画部ICT推進グループ												
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう				個別目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み 続けたいと思えるまちをつくります						
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12企画費					
アクションプラン	事業名: 10 ICT推進事業												
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	新型コロナウイルス感染症対策として市職員の時差出勤や在宅勤務が求められ、テレワークへの関心が高まっています。 このため、時差出勤、別室での分散勤務など他の施策と合わせテレワークを推進し、市職員が感染しない対策を進める必要があります。											
	目的 (何のために)	セキュリティの高いシステムを構築し、テレワークを推進する。											
	対象 (誰・何を対象に)	市職員											
	事業内容 (手段、手法など)	新型コロナウイルス感染症対策としてテレワークが注目されていること及び職員アンケートの結果を踏まえ、令和2年度に整備したテレワークシステム20台分に30台分を加え、50台体制として整備するものです。 システムの構成としては、初期設定に係る時間短縮とシステム管理の効率性の観点から令和2年度に整備したスタンドアローン型（個別対応型）から令和3年度はサーバ型へと移行し、50台分を一元管理します。 なおシステムの概要は「資料等」をご参照ください。											
目指す成果 (期待される効果)	テレワークの実施により在宅勤務者を増加させる。												
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)		
	テレワークシステムの構築と実施										令和3年4月		
事業費 積算内容	事業費 (経費)		財源内訳 (単位: 千円)										
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
	1,641 千円									1,641			
・テレワーク構築業務委託料 1,641千円 (導入作業費、管理サーバライセンス、ブート型USB※30、保守料など)													
事業実施 スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
	<input checked="" type="checkbox"/> システム構築												
	<input checked="" type="checkbox"/> テレワークの実施 <input type="checkbox"/> 20台体制 <input type="checkbox"/> 50台体制 (+30台体制)												
予算書及び予算説明書該当ページ			105ページ										

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成2年度	総事業費	625千円			
これまでの主な取組と成果	令和2年度にテレワークシステム20台分を整備するとともに新型コロナウイルス感染症の長期化を見据え、定期的にテレワークできる職員を把握するためのアンケートを実施し、最大50名程度の職員がテレワークが実施可能と判明したため、令和3年度に50台体制へ拡大することとしました。					
令和2年度 (予算)	取組内容	・テレワークシステムの導入(20台分)				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	625千円					625
主な経費	テレワーク構築業務委託料 625千円 (導入作業費、ブート型USB※20、保守料など)					

資料等(位置図等)



主要・新規事業等

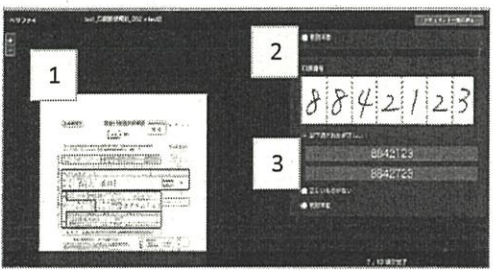
主要・新規事業等												
事業名等	ICT推進事業（AI-OCR共同利用サービス利用料）【継続】											
担当グループ	企画部ICT推進グループ											
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう				個別目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります					
予算区分	会計	一般会計		款	02総務費		項	01総務管理費		目	12企画費	
	事業名: 10 ICT推進事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	デジタル技術やAI等の活用による業務効率化を検討するうえで、手書き資料や紙のみで管理している資料のデジタル化が課題となっています。 このため、紙で管理している情報をデジタル化する、AI-OCRの技術が注目されています。										
	目的（何のために）	各種申請書や請求書など手書き情報や紙で管理している情報のデジタル化により、データ入力作業等の効率化を図ります。										
	対象（誰・何を対象に）	紙で管理している情報										
	事業内容（手段、手法など）	平成31年1月に設置された「あいちAI・ロボティクス連携共同研究会」（愛知県内54市町村が加入、事務局愛知県）にて研究・選定したシステムを導入します。 導入したシステムについては、各グループに1名ずつ配置した情報化推進員を中心に紙情報のデジタル化や入力作業の効率化を図ります。										
目指す成果（期待される効果）	手書きの書類のデータ入力作業の効率化や紙で管理している情報のデジタル化を進め、業務の効率化を図ります。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	AI-OCRの活用										令和3年4月	
事業費積算内容	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	573 千円						573					
・ AI-OCR共同利用サービス利用料 573千円 （全体事業費 32,760千円、うち高浜市分 573千円）												
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	<input checked="" type="checkbox"/> AI-OCRの活用											
予算書及び予算説明書該当ページ		105ページ										

これまでの主な取組と成果

事業年度	令和2年度	総事業費	231千円			
これまでの主な取組と成果	<p>平成31年1月に設置された「あいちAI・ロボティクス連携共同研究会」（愛知県内54市町村が加入、事務局愛知県）にて研究・選定したシステムを導入しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度：あいちAI・ロボティクス連携共同研究会設置 ・令和元年度：AI-OCRシステムの研究・検討 ・令和2年度：AI-OCRシステムの選定・調達・システム構築等（負担金として支出） 					
令和2年度 (予算)	取組内容	あいちAI・ロボティクス連携共同研究会を通じてAI-OCRシステムの選定・調達・システム構築等を実施しました。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	231 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	231					231
主な経費	あいちAI・ロボティクス連携共同研究会負担金 231千円					

資料等（位置図等）

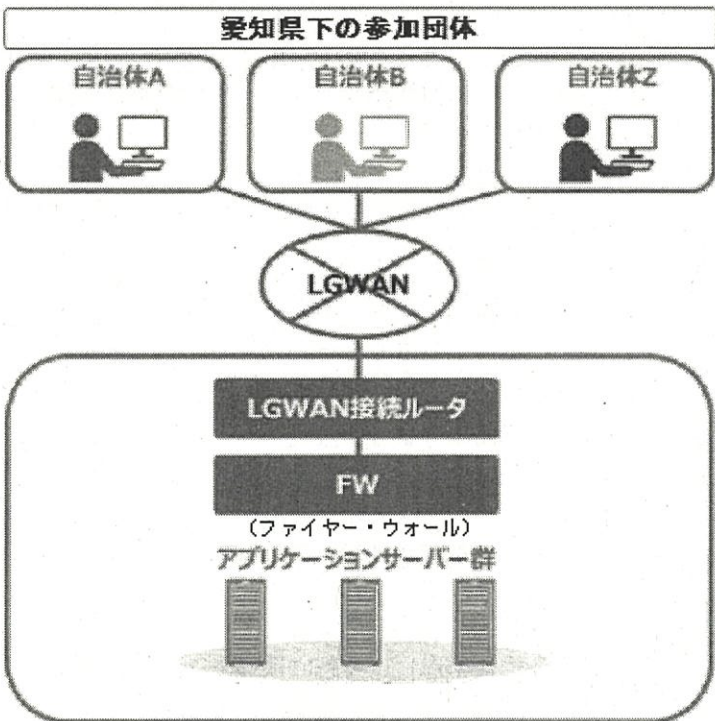
□ベリファイ画面



■ベリファイ画面の説明

1 手書き資料	2 読み取りイメージ
	3 読み取りデータ

□環境イメージ図



愛知県下の参加団体

自治体A 自治体B 自治体Z

LGWAN

LGWAN接続ルータ

FW
(ファイアー・ウォール)

アプリケーションサーバー群

主要・新規事業等

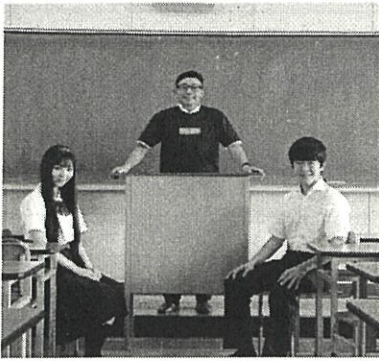
事業名等		市制施行50周年記念事業【継続】	
担当グループ	企画部総合政策グループ・企画部秘書人事グループ		
総合計画区分	基本目標：I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう	個別目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります
予算区分	会計：一般会計	款：02総務費	項：01総務管理費 目：12企画費
アクションプラン	事業名：12市制施行50周年記念事業		
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		
事業の必要性・実施の背景	高浜市市制施行50周年という大きな節目の年を、第6次高浜市総合計画（2011年～2022年）に掲げている将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を達成するために、行政のみによる形式的な事業実施ではなく、市民の皆さんと行政が手と手を取り合い一緒になって企画・立案し、自ら実践することのできる事業を実施していく。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に実施できず延期した事業を実施する。		
目的 (何のために)	半世紀の時を経て、高浜市として次の50年を築き、100年を迎えていくための新たなスタートを切るため、これまでの50年間、高浜市を支えてきた先人たちの想いをこれからの50年を創っていく世代に伝えていくため。		
対象 (誰・何を対象に)	市民		
事業概要	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度に延期をした市制施行50周年記念式典、並びに市制施行50周年記念事業を実施する。また、記録・PR事業についても昨年度より継続して実施する。</p> <p>【記念式典】 市制施行50周年を祝うため、従来 of 市民表彰式に50周年のアトラクションを加えて実施する。</p> <p>【記念事業】 ＜高浜市市民会議50企画事業＞ 市制施行50周年を盛り上げるため、市民によって結成された「高浜市市民会議50」で計画、実行する50周年記念事業。（4事業） ①おたかわら探し事業 ②わくわくワーク事業 ③笑顔の写真展事業 ④鬼みちまつりで50thオリジナルの灯り事業</p> <p>＜市民募集アイデア事業＞ 市制施行50周年を盛り上げるため、市民、団体、企業等より募集した市制施行50周年を記念する事業アイデアを実施する事業。（7事業） ①高浜アーカイブス ②イルミネーション事業 ③高浜50年ありがとう ごみ拾い ④市民合唱による第9演奏で50周年を祝う ⑤高浜市民記録に挑戦 ⑥天野浩名古屋大学教授基調講演 ⑦張濱記念コンサート</p> <p>【記録・PR事業】 広報誌やインターネット、SNSなど、各種媒体を使った積極的な情報発信により、市全体の市制施行50周年を祝う機運を高める。また記念誌を制作する。</p>		
事業内容 (手段、手法など)			
目指す成果 (期待される効果)	<p>■市制施行50周年記念事業を通じて、市民がこれまでの50年を振り返ることで、高浜市の良さに気づき、郷土への誇りを感じ、愛着が高まる。</p> <p>■高浜市の魅力を市内外に発信することができる。</p> <p>■市制施行50周年の取組に参加した市民が高浜市のことを考えるきっかけとなり、まちづくりの新たな担い手の発掘につながる。</p>		

目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)		
	高浜市市民会議 50メンバーから次期総合計画の策定に関わる人材を発掘する。										令和4年3月		
事業費 積算内容	事業費 (経費)		財源内訳 (単位:千円)										
	7,863 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						3,931
<ul style="list-style-type: none"> ■報償費 782千円 (◎講演等講師謝礼352千円 ◎市民合唱指導等謝礼160千円 等) ■消耗品費 647千円 ■印刷製本費 659千円 (記念誌、募集チラシ、地図 等) ■委託料 4,484千円 (◎市制施行50周年記念式典業務委託料1,306千円 ◎記念演奏業務委託料1,100千円 ◎会場設営業務委託料815千円 等) ■使用料及び賃借料 1,191千円 (◎公共施設等会場使用料927千円 等) ■負担金 100千円 													
事業実施 スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
											★12月上旬 記念式典		
	◆おたから探し事業(高浜市市民会議50企画事業)												
	◆わくわくワーク事業(夏休み頃)												
	◆笑顔の写真展事業 【5月～6月頃募集開始】 【展示・表彰】												
	◆鬼みちまつりでオリジナルの灯り事業 (10月)												
	●高浜アーカイブス (鬼みちまつり、式典)												
	●イルミネーション 【12月～1月頃】												
	●高浜50年ありがとう ごみ拾い 夏頃人形劇、市民一斉清掃等でPR												
	●市民合唱による第9演奏で50周年を祝う												
	●高浜市民記録に挑戦												
●天野浩名古屋大学教授基調講演													
●張濱(チャンビン氏)記念コンサート (秋頃)													
□ 記念誌完成													
予算書及び予算説明書該当ページ			107ページ										

これまでの主な取組と成果

事業年度	令和元年度 ～ 令和2年度	総事業費	24,738千円		
これまでの 主な取組 と成果	<p>【イベント】</p> <p>①50周年人を決める「じゃんけん大会」</p> <p>②ペットボトルキャップアートでシンボルマークづくり</p> <p>③50周年PRガチャガチャの設置</p> <p>④50周年PR Tシャツの作成・PR</p> <p>【市制50周年記念事業】</p> <p>＜高浜市市民会議50企画事業＞</p> <p>①テーマソング事業</p> <p>②笑顔の写真展事業</p> <p>③オリジナル食べ物づくり事業</p> <p>＜市民募集アイデア事業＞</p> <p>①PR動画制作</p> <p>②かわら記念グッズ制作</p> <p>③インスタで新名所づくり</p> <p>④かわらメダル制作</p> <p>【記録・PR事業】</p> <p>・記念動画制作</p>				
令和2年度 (予算)	取組内容	<p>【市制50周年記念事業】</p> <p>＜高浜市市民会議50企画事業＞</p> <p>①テーマソング事業</p> <p>②笑顔の写真展事業</p> <p>③オリジナル食べ物づくり事業</p> <p>＜市民募集アイデア事業＞</p> <p>①PR動画制作</p> <p>②かわら記念グッズ制作</p> <p>③インスタで新名所づくり</p> <p>④かわらメダル制作</p> <p>【記録・PR事業】</p> <p>・記念動画制作</p>			
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）			
	24,595 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 9,108
					一般財源 15,487
主な 経費	<p>◆報償費 742千円（◎講演等講師謝礼482千円 ◎市民合唱指導等謝礼160千円 等）</p> <p>◆消耗品費 742千円</p> <p>◆印刷製本費 2,067千円 （記念誌、PR用ポスター、パンフレット、CDジャケット、地図 等）</p> <p>◆委託料 12,424千円（◎記念動画制作業務委託料3,869千円 ◎記念品制作業務委託料6,031千円 ◎記念演奏業務委託料1,100千円 等）</p> <p>◆使用料及び賃借料 8,505千円（◎公共施設等会場使用料236千円 ◎著作権使用料8,250千円 等）等</p>				
令和元年度 (決算)	取組内容	<p>＜イベント＞</p> <p>①50周年人を決める「じゃんけん大会」</p> <p>②ペットボトルキャップアートでシンボルマークづくり</p> <p>③50周年PRガチャガチャの設置</p> <p>④50周年PR Tシャツの作成・PR</p> <p>＜市制50周年記念事業準備＞</p> <p>①テーマソング事業（テーマソングの制作）</p> <p>②おたかわら探し事業（おたかわらの制作）</p>			
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）			
	972 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 959
					一般財源 13
主な 経費	<p>◆報償費 50千円（◎イベントプレゼンター謝礼 50千円）</p> <p>◆消耗品費 321千円</p> <p>◆委託料 601千円 （◎テーマソング制作業務委託料500千円、◎おたかわら制作業務委託料101千円）</p>				

資料等(位置図等)



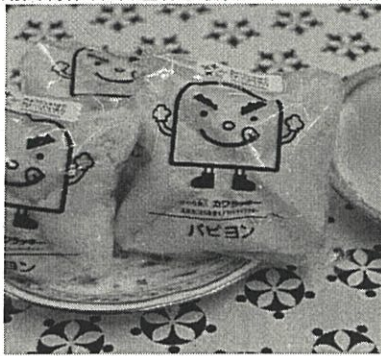
PR動画制作(名古屋行き最終列車~三河線編~)



インスタグラムフォトコンテスト



かわらメダル



オリジナル食べ物(ピーナッツパピヨン)



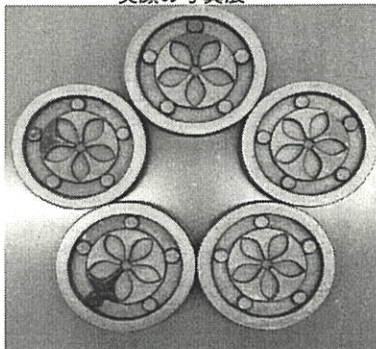
笑顔の写真展



高浜市テーマソング
ハッピースマイルタカハマ
~ちよっどいいまちちよっどいいまち~
ダンスと健康体操の振り付けも制作



市制50周年記念動画制作



かわら記念品(おたかわら)制作

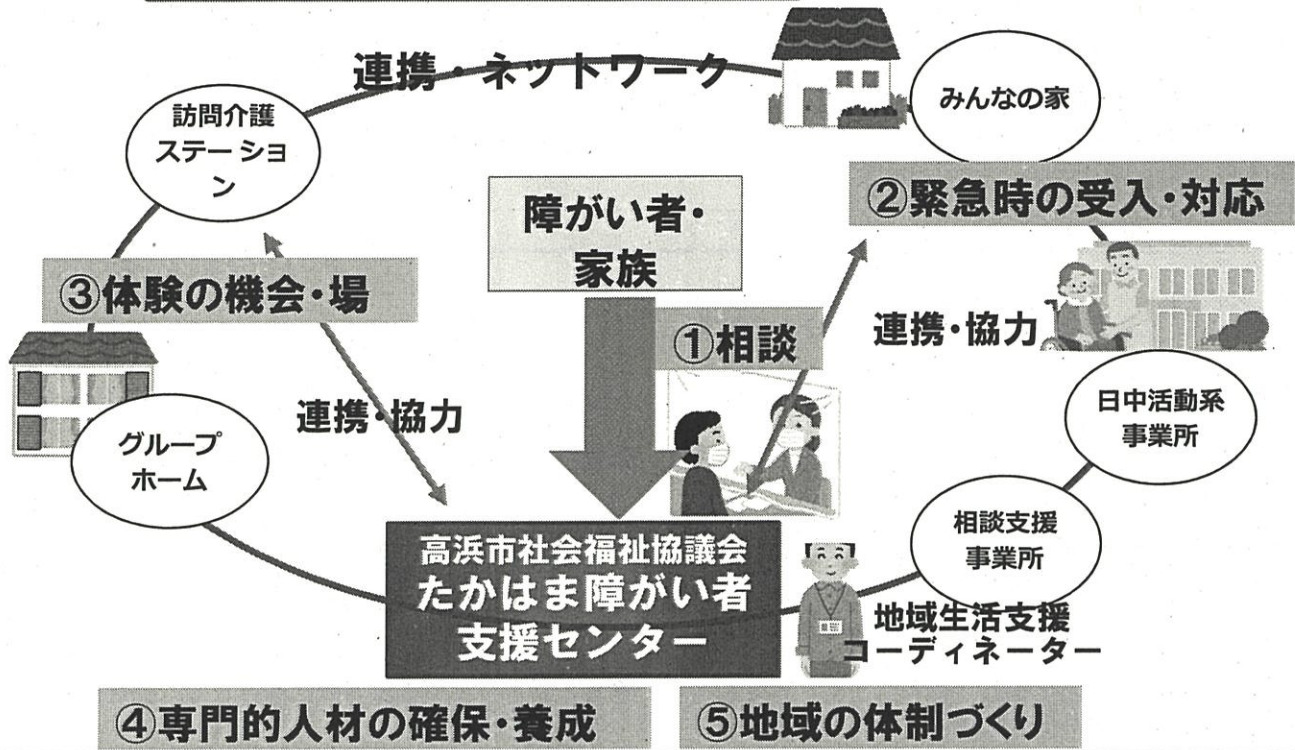
主要・新規事業等

主要・新規事業等												
事業名等	防災活動事業 (消耗品費：新型コロナウイルス感染症対策分) 【新規】											
担当グループ	都市政策部防災防犯グループ											
総合計画区分	基本目標：Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくらう	個別目標：(9) 安全・安心が実感できる まちづくりを進めます										
予算区分	会計：一般会計	款：02総務費	項：01総務管理費	目：18防災対策費	事業名：01防災活動事業							
アクションプラン	■該当する □該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	感染症対策用災害物資については、これまでも計画的に備蓄を進めてきたが、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、更なる備蓄の充実を図る中で、避難所における感染症防止対策の強化に取り組んでいく必要がある。										
	目的 (何のために)	新型コロナウイルスなどの感染症対策用災害物資の備蓄を充実することで、災害時における避難所での感染防止を図るため。										
	対象 (誰・何を対象に)	市民等										
	事業内容 (手段、手法など)	感染症対策用災害物資の購入 ・消毒スプレー 180本 ・マスク 20,340枚 ・ゴム製手袋 18,200枚 ・除菌ジェル 36本 ・折りたたみベッド 146台 ・パーテーション 46台 ・非接触型体温計 30台										
目指す成果 (期待される効果)	感染症対策用災害物資の備蓄拡充を推進することで、避難所における感染症対策が強化され、感染リスクの抑制が期待できる。											
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)	
	感染症対策用災害物資の数量等の拡充を計画的に推進する。										令和5年3月	
事業費積算内容	事業費(経費)		財源内訳(単位：千円)									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	6,100 千円			2,033			4,067					
消耗品費(感染症対策用災害物資購入費) 6,100千円												
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	補助金申請・交付決定			契約事務・発注			納品					
予算書及び予算説明書該当ページ			113ページ									

主要・新規事業等

主要・新規事業等													
事業名等	地域生活支援事業（障がい者地域生活総合支援業務委託）【継続】												
担当グループ	福祉部介護障がいグループ												
総合計画区分	基本目標：IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう						個別目標：(10) 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます						
予算区分	会計：一般会計		款：03民生費		項：01社会福祉費		目：03障害者在宅・施設介護費						
	事業名：02地域生活支援事業												
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	<p>事業の必要性・実施の背景</p> <p>国の第5期障害福祉計画において、障害者地域生活支援拠点等を整備することとされており、本市においても、自立支援協議会の中に地域生活支援拠点部会を設け、地域生活支援拠点等の整備について検討してきた。</p>												
	<p>目的（何のために）</p> <p>障がい者の重度化や・高齢化や「親亡き後」を見据え、障がい者やその家族が地域で安心して生活することができるようにするため。</p>												
	<p>対象（誰・何を対象に）</p> <p>市内に居住地を有する者及びグループホーム等に住んでいる居住地特例に該当する者のうち、以下の者を対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者手帳所持者 ・障害福祉サービス、障害児通所支援及び地域生活支援事業受給者 ・特別支援学校・特別支援学級在籍者、医師の診断書がある者 												
	<p>事業内容（手段、手法など）</p> <p>障がい者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市より委託を受けた高浜市社会福祉協議会（たかはま障がい者支援センター）内に地域生活支援コーディネーターを配置し、「地域生活支援拠点等」を整備する。 「地域生活支援拠点等」の役割は、①緊急時には24時間365日の相談体制、②緊急時の受入れ、③体験の機会・場、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくりを実施する場や体制のことである。</p>												
目指す成果（期待される効果）	障がい者やその家族が地域で安心して生活することができる。												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	地域生活支援拠点等を整備する										令和3年4月		
事業費積算内容	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）										
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
	46,509千円		17,180				29,329						
<p>・障がい者地域生活総合支援業務委託料 46,509千円</p> <p>内 地域生活支援拠点等分（人件費、携帯電話、研修費用等） 約8,000千円</p>													
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
	☆事業所へ周知（令和3年3月中実施）												
	☆4/1広報、HP等にて周知												
	<p>・コーディネーター配置</p> <p>・相談、緊急時の受入れ、体験機会・場等の実施</p>												
										☆ 自立支援協議会で 運用状況の検証			
予算書及び予算説明書該当ページ	135ページ												

高浜市地域生活支援拠点体制



主要・新規事業等

事業名等	小規模保育事業（地域型保育給付費）【新規】													
担当グループ	こども未来部こども育成グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(5) 子育てを支える環境を整えます					
予算区分	会計	一般会計			款	03民生費		項	02児童福祉費		目	02保育サービス費		
	事業名: 04小規模保育事業													
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児で待機児童が発生している 												
	目的（何のために）	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してこどもを産み、育てられるよう、保育ニーズに対応した子育て環境を整えるため、保育の受け皿を広げる。 												
	対象（誰・何を対象に）	3歳未満児及びその家族												
	事業内容（手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭的保育の「からんこえ」定員5名を、定員10名の小規模保育所に移行して、家庭的保育事業から小規模保育事業に事業を移行する（令和3年4月予定）。 ・小規模保育事業として実施する施設運営主体の法人に、地域型保育給付費を毎月給付する。公定価格－利用者負担額＝地域型保育給付費 												
目指す成果（期待される効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してこどもを産み、育てられるよう、保育ニーズに対応した子育て環境整備が進む。 													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	令和3年4月より小規模保育からんこえで定員10名の児童を受入れる										令和3年4月			
事業費積算内容	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）											
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	24,680 千円		13,000	4,936			6,744							
小規模保育「からんこえ」 公定価格 27,119,880円－保育料2,439,960円＝事業費24,679,920円														
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
	事業運営 ←													
予算書及び予算説明書該当ページ		151ページ												

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成27年度 ～ 令和2年度	総事業費	72,067千円			
これまでの主な取組と成果	家庭的保育事業の「からんこえ」定員5名にて0歳児から2歳児までの児童を受入れ、地域型保育給付費として施設運営主体の法人に、地域型保育給付費を給付してきた。					
令和2年度 (予算)	取組内容	家庭的保育事業の「からんこえ」定員5名にて0歳児から2歳児までの児童を受入れる。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,027千円	6,705	2,721			3,601
主な経費	地域型保育給付費 家庭的保育「からんこえ」分 13,027千円					
令和元年度 (決算)	取組内容	家庭的保育事業の「からんこえ」定員5名にて0歳児から2歳児までの児童を受入れる。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12,031千円	6,311	2,561			3,159
主な経費	地域型保育給付費 家庭的保育「からんこえ」分 12,031千円					

主要・新規事業等

事業名等		新型コロナウイルス感染症対策推進事業 (個別接種業務委託等) 【新規】											
担当グループ		福祉部健康推進グループ											
総合計画区分		基本目標: IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう					個別目標: (11) 一人ひとりの元気と健康づくりを 応援します						
予算区分		会計: 一般会計		款: 04衛生費		項: 01保健衛生費		目: 01保健衛生総務費			事業名: 04新型コロナウイルス感染症対策推進事業		
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	新型コロナウイルス感染症は全国的に感染が拡大しており、感染予防として市民を対象としたワクチン接種を実施する必要がある。											
	目的 (何のために)	市民への円滑なワクチン接種を実施することにより、新型コロナウイルス感染症の流行から市民の生命及び健康を守る。											
	対象 (誰・何を対象に)	市民											
	事業内容 (手段、手法など)	個別接種業務委託料 かかりつけ医など市内医療機関が実施する個別接種の接種費用 集団接種業務委託料 いきいき広場健康ホールで実施する集団接種の接種費用											
目指す成果 (期待される効果)		新型コロナウイルス感染症を収束させ、市民の生命・健康を守る。											
目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)		目標 (何をどのようにする)								達成時期 (いつまでに)			
		国が示す接種順位に基づき、市民へのワクチン接種を実施する。								令和3年12月			
事業費 積算内容		事業費 (経費)		財源内訳 (単位: 千円)									
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
		250,799 千円		250,799									
		個別接種業務委託料 221,582千円 集団接種業務委託料 25,477千円											
事業実施 スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
		高齢者向け優先接種		基礎疾患を有する方		高齢者施設等の従事者		上記以外の方					
予算書及び予算説明書該当ページ		163ページ											

これまでの主な取組と成果						
事業年度	平成2年度		総事業費	29,640 千円		
これまでの主な取組と成果	<p>新型コロナウイルス感染症が長期化する中、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行が懸念される冬季を前に、医療機関が行う新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を支援するため補助制度を設けるとともに、オゾン発生器等を購入し、新型コロナウイルスの感染拡大に努めた。</p> <p>また、4月初旬からの円滑なワクチン接種の実施に向けて準備を進めた。</p>					
令和2年度 (予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が行う新型コロナウイルス感染拡大防止の取組に対して補助を行う。 ・4月からの円滑なワクチン接種の実施に向けて準備を進めている。 				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	42,635 千円	42,635				
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止等支援補助金 17,300千円 ・オゾン発生器購入 5,914千円 ・保健総合システム修正業務委託料 1,144千円 等 					

主要・新規事業等

主要・新規事業等													
事業名等		母子保健事業（機械器具費）【新規】											
担当グループ		福祉部健康推進グループ											
総合計画区分		基本目標：Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう					個別目標：(11) 一人ひとりの元気と健康づくりを 応援します						
予算区分		会計： 一般会計		款： 04衛生費		項： 01保健衛生費		目： 02保健・予防費					
		事業名： 02母子保健事業											
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	視力検査においても早期発見・早期治療が大切である。強い屈折異常（遠視、近視、乱視）や斜視が見逃された場合、必要な治療が遅れることで十分な視力が得られなくなってしまう。											
	目的（何のために）	3歳児健診の視力検査において、弱視の危険因子となる屈折異常及び斜視を早期に発見し、早期治療につなげる。											
	対象（誰・何を対象に）	3歳児健診対象児											
	事業内容（手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳児健診で、視機能異常（屈折異常、斜視）の発見に効果のあるスポットビジョンスクリーナー（検査機器）を活用した視力検査を実施する。 ・ 検査の結果、屈折異常や斜視の疑いがある場合は、眼科医療機関への受診につなげる。 											
目指す成果（期待される効果）		スポットビジョンスクリーナーを活用したスクリーニングを実施することで、視覚異常の早期発見が可能となり、速やかに必要な治療につなげることができ、弱視の予防につながる。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）		
		3歳児健診で、受診者全員にスポットビジョンスクリーナー（検査機器）を導入した視力検査を実施する。									令和3年7月		
事業費積算内容		事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
		1,358千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			1,358		
事業実施スケジュール		スポットビジョンスクリーナー 1,298千円 スポットビジョンスクリーナー用プリンター 60千円											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
		契約事務											
				○納品									
		スポットビジョンスクリーナーを活用した検査を実施											
予算書及び予算説明書該当ページ		165ページ											

主要・新規事業等

事業名等	交通安全指導啓発事業 (自転車用ヘルメット購入費補助金) 【新規】													
担当グループ	都市政策部防災防犯グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう						個別目標	(9) 安全・安心が実感できる まちづくりを進めます					
予算区分	会計	一般会計	款	08土木費			項	08交通安全対策費		目	02交通安全啓発費			
アクションプラン	■該当する □該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	愛知県内の自転車乗用中における交通事故死者の66.7%は、主に頭部の損傷が原因で亡くなっている。また、負傷者の多くは65歳以上の高齢者と7歳から18歳までの児童・生徒などが占めている。 自転車乗用中にヘルメットを正しく着用することで、頭部損傷による死者の割合は、およそ4分の1に低減すると言われており、自転車用ヘルメットの着用率を高めていく必要がある。												
	目的 (何のために)	交通安全対策の一つとして、事故の影響を受けやすい高齢者、児童・生徒などへの自転車用ヘルメットの着用率の推進を図ることで、交通事故による死傷者数を減少させるため。												
	対象 (誰・何を対象に)	①令和3年度中に65歳以上になる高齢者(予定) ②令和3年度中に7歳から18歳までになる児童・生徒など(予定)												
	事業内容 (手段、手法など)	対象者が自転車用ヘルメットを購入した際に、購入費の一部を補助する。 ①補助率: 1/2(予定) ②補助限度額: 最大2千円(予定) ③補助対象ヘルメット: 安全性の認証を受けたもの(SGマーク、JCFマークなど)(予定) ※本事業については、愛知県において補助要綱の整備等が進められており、その動向によっては事業内容を一部変更する可能性があります。(令和3年1月29日現在)												
目指す成果 (期待される効果)	自転車用ヘルメットの着用率が高まり、交通事故発生件数の減少に繋がる。													
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)			
	人口1,000人当たりの交通事故発生件数を令和2年実績より減少させる。										令和4年3月			
事業費積算内容	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)											
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	576千円			288			288							
自転車用ヘルメット購入費補助金 576千円(2千円×288件)														
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
	補助制度の開始													
	補助制度の周知(広報たかはま、高浜市公式ホームページ、いきいきクラブ、学校など)													
予算書及び予算説明書該当ページ			199ページ											

主要・新規事業等

事業名等													教育委員会運営事業（保護者連絡システム導入業務委託等）【新規】													
担当グループ													教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分													基本目標：Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標：(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます							
予算区分													会計：一般会計			款：10教育費			項：01教育総務費			目：01教育委員会費				
アクションプラン													<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景													児童生徒が欠席する場合、学校に保護者が連絡をすることになっている。しかし、保護者の仕事の都合等で始業までに連絡ができないことがある。また、インフルエンザの流行期など、電話がなかなかつながらないという現状がある。受ける側の学校においても、インフルエンザの流行期など電話が絶えることなく鳴り続け対応に苦慮することもある。また、保護者への配付物が子どもたちの机やランドセルの奥で滞っており、タイムリーに保護者に渡らないこともある。												
	目的（何のために）													保護者にとっても教員にとっても事務等の効率化を進めるため。また、保護者へのタイムリーかつ確実な情報提供を図ることができるようにするため。												
	対象（誰・何を対象に）													保護者・教員												
	事業内容（手段、手法など）													学校と保護者のパソコンやタブレット、スマートフォンをつなぐ連絡システムを導入する。 ・保護者からの欠席連絡を24時間受付 ・紙媒体の配付物を電子媒体で配付 ・緊急連絡をメールマガジンで発出（既読にならない保護者の端末には自動で再通知を発出） ・端末の利用による保護者アンケートの実施及び自動集計												
目指す成果（期待される効果）													教員の多忙化が緩和されるとともに、保護者にとっても配付物がタイムリーかつ確実に届けられたり、欠席連絡を時間を気にすることなく伝えられたりするなど、これまでの課題を解決することができる。													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）													目標（何をどのようにする）						達成時期（いつまでに）							
													保護者連絡システムの導入を完了する。						令和3年10月							
事業費積算内容													事業費（経費）						財源内訳（単位：千円）							
													1,199 千円						国庫支出金		県支出金		地方債		その他	
																			297 902							
													・学校・保護者をつなぐ連絡システムの導入費用 605千円 ・月々の運用費用 594千円 ※運用費用の1/2は保護者負担													
事業実施スケジュール													4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
													第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
													契約手続き			システムの導入・運用開始										
予算書及び予算説明書該当ページ													203ページ													

主要・新規事業等

事業名等	小学校維持管理事業 (港小学校長寿命化改良事業設計業務委託) <債務負担行為> 【新規】													
担当グループ	教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	02小学校費	目	01学校管理費						
事業名	01小学校維持管理事業													
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	港小学校は、建築後45年が経過し、老朽化が進んでおり、今後も厳しい財政状況が予想される中では、効果的・効率的に長寿命化対策を実施し、校舎を長く使っていくことが欠かせない。												
	目的(何のために)	港小学校を将来にわたって長く使い続けるための長寿命化改修工事に向けた基本設計及び実施設計等を行うため。												
	対象(誰・何を対象に)	港小学校校舎等												
	事業内容(手段、手法など)	港小学校の長寿命化改修工事に向けた基本設計・実施設計を行う。 ・経年による外壁等の劣化の改修 ・水道、電気、ガス管等のライフラインの更新 ・建物の機能や性能を向上させるもの ・学校現場との協議等 【スケジュール】 令和3～4年度：設計業務、令和5年度：交付金申請、令和6～8年度：長寿命化改修工事												
目指す成果(期待される効果)	物理的な不具合を直すとともに、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる長寿命化改修工事につなげ、学校施設の長寿命化を図る。													
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)			
	港小学校の長寿命化改修工事に向けた実施設計等を完了する。										令和5年3月			
事業費積算内容	事業費(経費)		財源内訳(単位：千円)											
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	16,192千円						16,192							
<現年度予算> ・港小学校長寿命化改良事業実施設計等業務委託料 16,192千円 <債務負担行為> 期間：令和4年度 限度額：港小学校長寿命化改良事業実施設計等業務委託料 33,737千円 <合計> 49,929千円														
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
	契約手続き			基本設計										
予算書及び予算説明書該当ページ		209・264ページ												

主要・新規事業等

事業名等	中学校維持管理事業（高浜中学校プール改修工事費等）【新規】											
担当グループ	教育委員会学校経営グループ											
総合計画区分	基本目標：Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標：（４）学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計：一般会計		款：10教育費		項：03中学校費		目：01学校管理費					
	事業名：02中学校維持管理事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景 既設プール、管理棟及び更衣室棟は、設置後53年が経過しており、施設全体の老朽化が進み、特に管理棟及び更衣室棟の老朽化が著しい。											
	目的（何のために） 今後、長期的にプール運営を行うために、建屋の改築、プール設備の更新及びプール槽の改修を行う。											
	対象（誰・何を対象に） 高浜中学校プール等											
	事業内容（手段、手法など） ①高浜中学校プール改修工事 ・管理棟解体・建設工事 ・プール改修工事 ②上記工事の工事監理業務委託											
目指す成果（期待される効果） 物理的な不具合を直すとともに、プールの機能を求められている水準まで引き上げ、プール施設の長寿命化を図る。												
目標設定 （なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	高浜中学校プール改修工事を完了する。										令和4年3月	
事業費積算内容	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	111,232 千円		3,528		81,700		26,004					
①高浜中学校プール改修工事 105,600千円 ②高浜中学校プール改修工事監理業務委託 5,632千円												
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
				契約手続き 契約手続き			高浜中学校プール改修工事					
				高浜中学校プール改修工事監理業務委託								
予算書及び予算説明書該当ページ			215ページ									

主要・新規事業等

事業名等	中学校維持管理事業（高浜中学校トイレ改修工事費）【新規】											
担当グループ	教育委員会学校経営グループ											
総合計画区分	基本目標：Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標：(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計：一般会計		款：10教育費		項：03中学校費		目：01学校管理費		事業名：02中学校維持管理事業			
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景 生活環境の変化により、一般家庭のトイレの便器は和式から洋式へと変化したが、高浜中学校のトイレは大便秘器洋式化率が11.1%と低い状況にある。また、タイル目地や便器にアンモニアがしみ込み、悪臭が酷い状態が見受けられる。											
	目的（何のために） 既設校舎トイレについて、衛生面、安全面、使い勝手、経済性、維持管理面を改善し、教育環境を向上させるため。											
	対象（誰・何を対象に） 高浜中学校の生徒・教職員											
	事業内容（手段、手法など） 既存の和式便器の洋式便器への取り替え及び湿式トイレから乾式トイレへ改修するための工事を実施する。（北校舎東側1階～4階）											
目指す成果（期待される効果） 学校施設の衛生面、安全面、使い勝手など、教育環境の向上につながる。												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）												
目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
高浜中学校北校舎東側の洋式便器化及び乾式トイレ化を実現する。										令和4年3月		
事業費積算内容	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	70,752 千円		5,661		57,700	7,340	51					
高浜中学校トイレ改修工事（北校舎東側トイレ1階～4階）70,752千円 ・建築工事 ・電気工事 ・設備工事												
事業実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">契約手続き</div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;">高浜中学校トイレ改修工事</div>								
予算書及び予算説明書該当ページ			215ページ									

主要・新規事業等

主要・新規事業等														
事業名等		生涯スポーツ推進事業（体育センター解体工事費等）【継続】												
担当グループ		こども未来部文化スポーツグループ												
総合計画区分		基本目標：Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標：(3) 学び・文化・スポーツの輪を広げ、まちのチカラを育みます							
予算区分		会計：一般会計		款：10教育費		項：06保健体育費		目：02生涯スポーツ費						
		事業名：01生涯スポーツ推進事業												
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	「公共施設総合管理計画」では、体育センターは総量圧縮を図る施設として、高浜小学校の建替えにあわせて機能移転することが位置付けられている。令和2年12月に体育センターは閉場し、令和3年1月にメインアリーナ・サブアリーナがオープンした。												
	目的（何のために）	老朽化等による施設・設備の改修費用を抑制するとともに、施設の総量圧縮を図るため。												
	対象（誰・何を対象に）	高浜市体育センター												
	事業内容（手段、手法など）	体育センターの解体工事を行う。												
目指す成果（期待される効果）		施設・設備の改修費用を抑制するとともに、施設機能の統合により、維持管理費の軽減が図られる。												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）			
		体育センター解体工事の完了									令和3年8月			
事業費積算内容		事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）										
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		
		54,710 千円						49,200				5,510		
		体育センター解体工事費 53,588千円 体育センター解体工事監理業務委託料 1,122千円												
事業実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">監理業務委託</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">解体工事</div> </div>												
予算書及び予算説明書該当ページ		231ページ												

これまでの主な取組と成果

事業年度	令和元年度 ～ 令和2年度	総事業費	4,203千円			
これまでの主な取組と成果	体育センターの廃止及び解体に向けて、令和元年度に、事前調査として、アスベスト含有調査及びPCB含有点検を実施し、調査結果を基に解体工事に必要な設計積算を実施した。 令和2年度には、解体工事監理業務委託の発注及び解体工事の発注を実施した。					
令和2年度 (予算)	取組内容	体育センターの解体に向けた工事監理業務委託契約の締結 体育センターの解体に向けた工事発注				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	主な経費	・解体工事監理業務委託 1,122千円(債務負担) ・解体工事（設計金額） 53,588千円(債務負担)				
令和元年度 (決算)	取組内容	体育センターの解体に向けたアスベスト含有調査及びPCB含有点検の実施 体育センターの解体に向けた試掘の実施 体育センターの解体に向けた設計書の作成				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	4,203 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	主な経費	・解体工事設計業務委託 2,860,000円 ・アスベスト含有調査業務委託 694,440円 ・PCB含有点検業務委託 432,358円 (他施設含む) ・試掘調査業務委託 216,000円				

